



神奈川県立横浜平沼高等学校

歴史資料展示室

ご挨拶

校長 吉野 哲也 (82期)

この度は、横浜平沼高等学校の「歴史資料展示室」にお越しいただき、本誌をお読みいただきありがとうございます。本校の資料室が皆さまとの出会いの場となり、本校の歴史と伝統について実感していただけることを大変嬉しく思います。

横浜平沼高等学校は、1900（明治33）年に創立され、百有余年の歴史を誇る伝統校として、数多くの優れた人材を輩出してきました。本校の卒業生たちは、時代ごとに社会へ貢献し、地域を支え、日本全体の発展に寄与する役割を果たされてきました。その歩みは、私たちにとって大きな誇りであり、未来を担う生徒たちにとっても重要な指針となるものです。

「歴史資料展示室」では、こうした本校の軌跡を明らかにするとともに、学びを社会に活かす原動力となった貴重な記録や資料を展示しています。これらの記録からは、学校文化の形成や地域との関わり、そして時代の変化とともに歩んできた横浜平沼高等学校の姿を見ることができます。過去を振り返ることで、現在と未来へのヒントを見だし、新たな可能性を模索する機会となることを願っています。

当「歴史資料展示室」が、生徒たちに諸先輩方の努力や志を感じ取ってもらうきっかけとなることを期待しております。また、保護者や地域の皆さまもぜひ足をお運びいただき、この資料室でわが校の歩みについて学び、多くの発見と感動を味わっていただければ幸いです。

学校を愛し、歴史を深く知ることは未来への一歩を強くすることです。本校はこれからも「人間性豊かで指導的役割を果たせる人材」や「国際社会で活躍できる人材」の育成を目指し、伝統と社会のニーズを融合させた教育活動を展開してまいります。

ぜひこの「歴史資料展示室」を通じて、横浜平沼高等学校の歩みを振り返り、未来への想像と期待を膨らませてください。

真澄会会長 小野 力 (71期)

日頃から、横浜平沼高等学校同窓会真澄会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、横浜平沼高等学校は、長い歴史と伝統を有し、多くの卒業生がそれぞれの時代の学び舎で青春を育み、社会へ羽ばたいてまいりました。そうした中、母校創立100周年記念事業として、2003年に「歴史資料展示室」が開設されました。学校創立1900（明治33）年以来の歩みを伝える写真や記念資料、校章、制服に関する様々な展示品とともに、先輩方の思い出が数多く収められております。それらは単なる過去の記録ではなく、本校の精神と歴史を未来へ受け継ぐ大切な財産であります。

「歴史資料展示室」の展示をご覧くださいことで、卒業生の皆様には懐かしい記憶を振り返っていただくとともに、在校生や地域の皆様には、本校の歩みと伝統の重みを感じていただく大切な場所です。まさに「温故知新」、歴史を知ることは、新たな未来を築く力につながります。

真澄会はこれからも、会員相互の交流を深めるとともに、母校の発展に寄与できるよう努めてまいります。本展示室が様々な世代を超えた、同窓生の交流と学びの場となることを願っております。

「歴史資料展示室」設置の趣旨

神奈川県立横浜平沼高等学校は、1900（明治33）年、県下初の高等女学校として設立されました。以来、1世紀以上にわたってこの岡野の地で様々な時代の「青春」を見守り続けています。

この間「神奈川県立高等女学校」「神奈川県立横浜第一高等女学校」「神奈川県立横浜第一女子高等学校」「神奈川県立横浜平沼高等学校」と、校名が変更されていますが、このことは、本校の歩みが20世紀から21世紀にわたる社会や教育の歩みと共にあることを象徴しています。

在校生が自分の学校の歴史を学ぶことを通して、近代日本の歴史を語れるようになること、様々な人々の思いの上に今の自分があることを感じられるようになること、本校ではそれを「校史教育」と名付け、特色ある教育の一つとしています。

この展示室は、時代を超え、収集・整理されてきた資料を展示することで、在校生の「校史教育」に資することを第一の目標としています。設置に当たっては、本校同窓会「真澄会」の全面的なご協力を仰ぎました。同窓生の皆さんがそれぞれの青春時代を偲ぶ縁となる場所、更に、同窓生同士や在校生との世代を超えた交流の場となることもこの展示室の大きな目的です。また、地域の方々には、神奈川・横浜の教育の歴史をたどる場として利用していただくことも目指しています。

展示の内容

展示室は、前半が常設スペース、後半が企画スペースになっております。常設展示では、創立から今日までの校史を語り、企画展示では様々な切り口から特集を組み、学校保存の資料に加え真澄会の所蔵する3,000点余りの歴史資料の中から選び出し構成しております。

学校の歴史を辿る年表は、学校での出来事に併せて社会的な出来事も記され、当時の世相を知ることができます。また、学校新聞『平沼時報』のレプリカ版を観ることで、在校当時の出来事を辿れるようになっております。

校舎の変遷



初代校舎
1900(明治33)年～1923(大正12)年



バラック建ての仮校舎
1923(大正12)年～1928(昭和3)年



二代目校舎
1928(昭和3)年～1990(平成2)年



清水ヶ丘の仮校舎
1990(平成2)年～1992(平成4)年



現校舎
1992(平成4)年～現在

写真で見る今と昔



1953(昭和28)年
運動会にて

ファウスト



復活したファウスト
女学校時代からの伝統的な優美さが
引き継がれています



1915(大正4)年
第一回体育奨励会

運動会



建て替えを機に途絶えていた運動会は
2002(平成14)年7月
平沼祭体育部門として復活



1930(昭和5)年
創立30周年記念音楽会

音楽会



2000(平成12)年
創立100周年記念音楽式典
横浜みなとみらいホールにて

沿 革

1900(明治33)年	10月10日	神奈川県高等女学校設立認可
1901(明治34)年	5月	第一回入学式(1日) 開校式(5日)
		神奈川県立高等女学校と改称 授業開始(7日)
1902(明治35)年	4月	師範学校女子講習科付設
1907(明治40)年	1月	神奈川県女子師範学校創設 本校に併置
1910(明治43)年	4月	神奈川県女子師範学校附属小学校開校
1923(大正12)年	9月 1日	関東大震災 一部を除き校舎倒壊 附属小学校焼失
	11月 13日	仮設校舎で授業開始
1927(昭和 2)年	3月	神奈川県女子師範学校分離
1928(昭和 3)年	10月	新校舎落成
1930(昭和 5)年	4月	神奈川県立横浜第一高等女学校と改称
		専攻科を設置(翌年廃止)
1945(昭和20)年	3月	5年生と共に4年生も繰り上げ卒業
	5月29日	横浜大空襲 焼失を免れた校舎本館は救護病院となる
	10月	終戦後の授業再開
1946(昭和21)年	2月	修業年限が5年に戻る
1947(昭和22)年	4月	新制中学発足に伴い、2、3年生は
		神奈川県立横浜第一高等女学校併設中学生徒となる
1948(昭和23)年	1月	通信教育部併置
	4月	神奈川県立横浜第一女子高等学校となる



神奈川県立高等女学校
1900 - 1930



神奈川県立横浜第一高等女学校
1930 - 1948



通信制
1948 - 2008



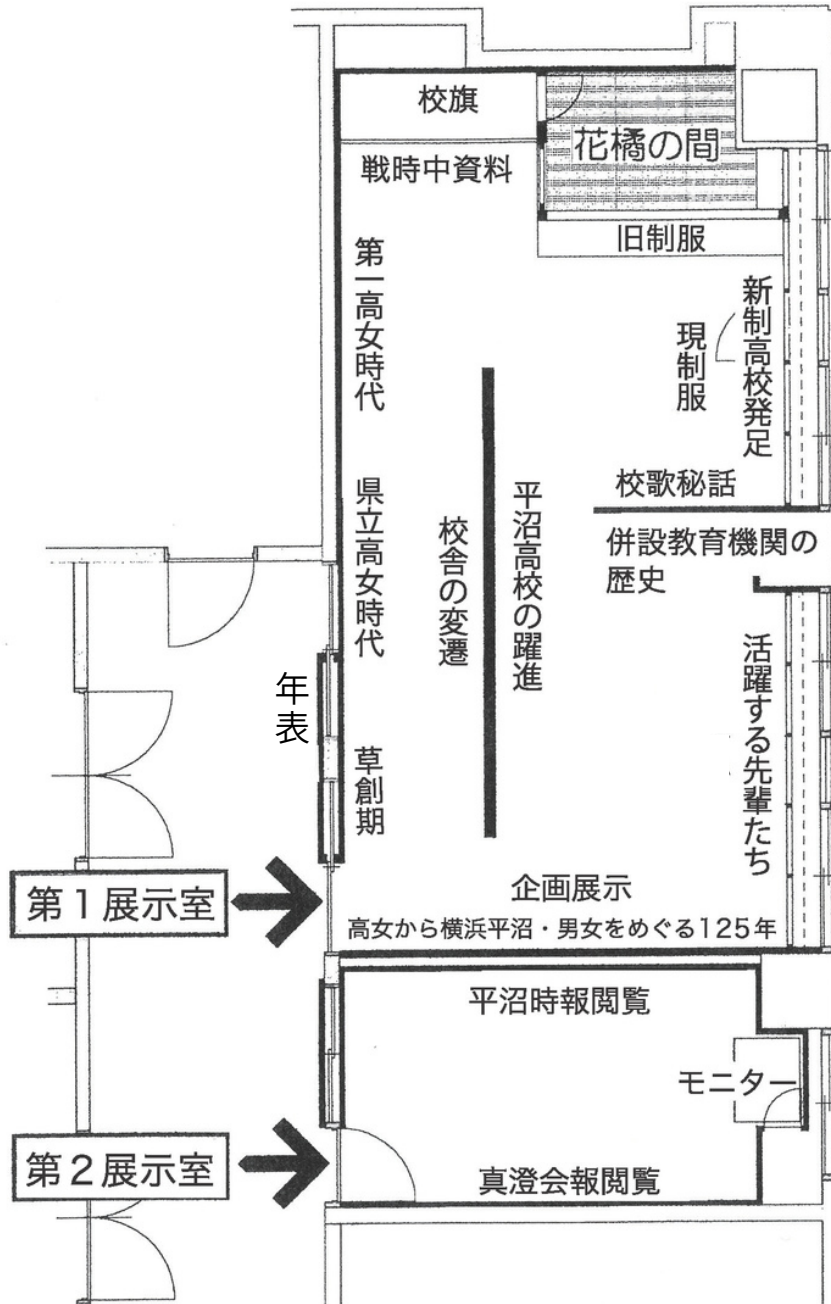
神奈川県立横浜第一女子高等学校
1948 - 1950

1949(昭和24)年	4月	神奈川県立横浜幼稚園併置
1950(昭和25)年	4月	神奈川県立横浜平沼高等学校と改称 男女共学実施
1961(昭和36)年	10月	通信教育部を通信制課程と改称
1990(平成 2)年	3月	新校舎建設のため 清水ヶ丘仮設校舎に移転
		県立横浜幼稚園閉園
1992(平成 4)年	3月	新校舎に移転
2000(平成12)年	6月	先輩セミナー開始
	10月	創立100周年記念音楽式典
2003(平成15)年	3月	校史教育のための冊子『県立高女から横浜平沼へ』発行
	9月	歴史資料展示室開設
2008(平成20)年	3月	通信制課程 横浜修悠館高等学校として独立
2009(平成21)年	8月	第2 歴史資料展示室開設
		神奈川県立保土ヶ谷養護学校横浜平沼分教室開設
2025(令和 7)年	11月	創立125周年記念式典



神奈川県立横浜平沼高等学校
1950 - 現在

歴史資料展示室
体育館棟2階



設計・監理：岩崎立実（67期）
堰 満（67期）
施工：サンワホーム株式会社
松田敏雄



神奈川県立高等女子学校 明治 30 年代

神奈川県立横浜平沼高等学校

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 1-5-8

TEL : 045-313-9200 FAX : 045-311-0519

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamahiranuma-h/index.html>



同窓会 真澄会

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 1-5-8

TEL : 045-311-3356 (火曜日 10:00-15:00)

https://masumikai.securesite.jp/sp20/sp_main/index.html

事務局メールアドレス jimukyoku@masumikai.org



表紙イラスト：伊藤 有彦（78期）

横浜港を感じる風景を舞台に、それぞれの高校生活の輝きの象徴をラフドローイングの人物シルエットに込めました。真澄会会員一人一人が大切にしている「平沼高校への思い」を尊重する意味で、ポートレートや写真に一時代よく使われた縦型オーバルのフレーミングを施しています。